

九州歯内療法学会・学術講演会

(日本歯内療法学会協力団体)

学術講演 1

「歯原性歯痛の診断」～歯の痛み、正確に診断できていますか？～

鹿児島市開業 松下 幸誠 先生

歯科医にとって「歯痛の診断」は、常に挑戦の連続です。なぜなら、硬組織に囲まれた歯は、その内部の病態を直接確認することができず、想像によって診断せざるを得ないからです。一方、歯痛の診断は歯科医にしかできない重要な領域であり、他科との連携治療の観点からも、患者の現症・病歴に加えて病態や治療法に関する知識に基づいた正確な診断が求められます。しかしながら、難しい症例に遭遇した場合、臨床経験の浅い歯科医はもちろん、経験豊富な歯科医においても専門家としての判断が揺らぐことは珍しくありません。

今回は、歯が原因で生じる歯痛（歯原性歯痛）について、その臨床検査と鑑別診断の基本を振り返るとともに、歯に原因がないにもかかわらず歯に痛みを感じる疾患（非歯原性歯痛）にも言及したいと思います。

学術講演 2

「Er:YAGレーザーを用いた根管洗浄法の実際」

鹿児島市開業 吉嶺 真一郎 先生

今年4月にボストンで開催された米国歯内療法学会では、Er:YAGレーザーを用いた根管洗浄法（LAI: Laser-activated irrigation）の講演が話題になったと聞く。近年日本でも、複雑な形態の根管に残る感染層を効果的に除去する手段として、Er:YAGレーザーによる根管洗浄法が注目されている。私が初めてLAIを知ったのは、2008年歯科用レーザー学会での海外演者の講演であった。従来のレーザーエンド治療とは全く違う手法を用いた新たな発想の治療法に衝撃を受けた。それ以来、LAIを実践してきたが、その洗浄効果をはっきりと認識できるようになったのは、12年前にマイクロスコープを導入してからであった。

今回の講演では、臨床例の動画とデンタルX線像による経過観察から、一般臨床医でも対応可能な症例におけるLAI効果をご紹介します。

2025年11月2日（日） 10:00～13:30

会場：鹿児島県歯科医師会館/4階研修室 2

(鹿児島市照国町13-15)

参加費：5,000円（申込不要/参加費は当日会場で申し受けます。）

・日本歯内療法学会又は九州歯内療法学会の会員でなくてもご参加いただけます。
(学生・研修医・歯科衛生士：無料)

お問い合わせ先：九州歯内療法学会事務局 kyushuendo@gmail.com